

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 抗酸菌検出に関する年度別の検討

### 研究の目的

現在日本において、結核罹患者は減少してきておりますが、一方、非結核性抗酸菌 (NTM) の症例は増加しております。特に、2014 年の全国調査では、肺結核の罹患率を上回ることが明らかにされて、特に高齢者・女性・非喫煙者での罹患率が高い傾向にあり、死亡数も増加傾向であり、将来的に結核を上回る可能性があります。このような現状を踏まえて、当院での抗酸菌検出状況を把握することは重要であると考えております。

今回、当院における検査検体からの抗酸菌検出について解析を行うことによって、日本全体のデータとの比べて地域における特徴などを検討し、しっかりした診療体制の整備や感染指導に活用できると考えております。

**研究実施期間：** 実施許可日 ～ 2028 年 10 月 31 日

**対象となる方：** 2022 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日までの間、弘前大学医学部附属病院に通院・入院患者で抗酸菌検査を行った方

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

本研究は、抗酸菌検査を出された検体の中で、抗酸菌が検出された結果(患者 ID・受付日・性別・年齢・採取日・検査材料名・科名・直接法・液体培地週数・液体培地結果・菌名)を利用します。また、検出された患者の当院のカルテに記録されている情報のうち、身長、体重、採血データ、年齢、性別、入院日、退院日、転帰、合併症、基礎疾患、内服薬、投与薬剤情報、酸素投与・人工呼吸器使用状況、喫煙歴を利用します。氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して、上記の項目を利用し解析します。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

医学部附属病院 感染制御センター 糸賀正道 内線 5176/mail  
gacchi86@hirosaki-u.ac.jp

